

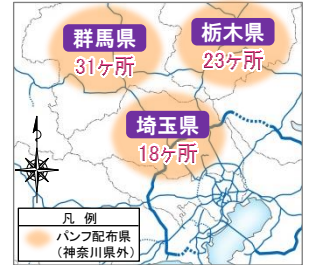
# 効果② 広域観光交流に向けた取り組み

- 地元では、地域を元気にする“地方創生”に向けた取り組みが始まった
- 湘南地区では「お楽しみガイド」を製作し、北関東方面の道の駅を中心に配布

## 北関東方面から湘南地区への誘客の広報

北関東方面から近くなった湘南地区の観光を呼びかけるため、湘南3市3町（藤沢・茅ヶ崎・平塚・寒川・大磯・二宮）の秋から冬の見どころをまとめたパンフレットを製作。

群馬県・栃木県・埼玉県の道の駅を中心に72箇所、約1万3千部を配布。



資料:「秋から冬の湘南お楽しみガイド」  
(発行:湘南地区観光振興協議会)

**圏央道開通**  
海も山もレジャーはおまかせ!  
湘南がぐっと身近に!!

都心を通らずに首都圏を縦断  
北関東方面 ⇄ 湘南が  
こんなに近くなりました!

圏央道開通により北関東方面 ⇄ 湘南へのアクセスが格段にアップしました。  
都心経由よりも片道約30分も短縮できます。  
圏央道なら寒川・茅ヶ崎・藤沢まで直通。  
新湘南バイパスを使えば海沿いの国道134号線に乗り入れ、湘南が、ぐっと近くなりました。

平日朝夕の通勤時間帯や土・日曜、祝日は、交通の混雑が予想されますので、お出かけ前などは交通情報をご確認ください。

久喜白岡JCT  
白岡菖蒲IC  
2015年11月末開通予定  
桶川北本IC  
八王子JCT  
海老名JCT  
厚木IC  
寒川北IC  
寒川南IC  
新湘南バイパス  
茅ヶ崎海岸IC  
茅ヶ崎JCT  
藤沢IC  
茅ヶ崎JCT

片道約30分以上短縮

## 「圏央道広域観光周遊」の広報 (2016年1月26日 関東7紙)

\* 茨城新聞社・下野新聞社・上毛新聞社・埼玉新聞社・神奈川新聞社・千葉日報社・山梨日日新聞社



### ■千葉日報社からの声

関東7社同一紙面掲載で交流人口が増加  
圏央道は地方創生の要となる道路

圏央道は関東7県にとって新たな交通の“大動脈”となり、観光だけでなく流通にも大きな変革が表れている。

各県観光スポットへの行程時間短縮による観光客の増加、流通企業の物流拠点の設置等、地域経済の活性化につながり“地方創生”に寄与している。

地元根付いた関東7県の県紙が協力することで、近隣県の情報を読者に広く訴求することができ、広域周遊観光への足掛かりとなっている。これにより交流人口が増加し地域振興の一助となる。

地方創生の要となる圏央道の全線開通を関東7社は全力で応援する。

出典:平成28年3月 ヒアリング調査(関東地方整備局調べ)

